休刊　大祭日　第一　第三日曜
定價　一部二錢　一ヶ月　六十錢　郵税十五錢
廣告料　五号活字一行六十錢
發行所　磐城新聞社
福島縣平町

思ひ出草（6）

古いスクラツプブツクから

哲村

◇

磐中は毎週土曜日を學生デーと定め此の日に限つて一般生徒の活動寫眞見物を許してゐるが近來些か監視の手がゆるんだ故か一部上級生徒がこの日以外にチヨイ／＼常設館へ出入するのを發見して硬骨の五年生連が大憤慨

◇

そこで所謂校紀の振粛の已むを得ないと云ふので熱表に上つた生徒に對して一々雨霰のやうな鐵拳の制裁を加へた上厳重に將來を訓戒した

◇

恐ろしい上級生の劍幕に大抵は蛇に睨まれた蛙の如くすくんでしまひそのなすが儘にまかしたが素提こい座徒の若干名は前後の形勢不穩と見るや脱兎の如く校庭續きの密林へ逃避して辛うじて事なきを得た

◇

この日恰も雨降りだつたので息を殺して待ち兼ねた始業の鈴が鳴ると同時に密林から飛び出して教室に入つた時は一同濡鼠の恰好惡る、の次第を知らぬ先生「幾ら暑いからつて洋服の上から水を浴びる奴があるかアー」

ツこ

これが最近暑中休暇を前に控へた磐城中學に生徒の風紀を維持するを以て目的とする自治會と云ふものが出來た一寸前のストームであるそうな、よい意味に於て磐中は蠻中に通ず罪のないこつた

◇

けふの日曜、小名濱も四倉も今年になつて一番の人出が豫想される（昭和二、八、四日磐新信號）

◇

驛前より公園上と持ち運ばれた大越中佐の銅像建設場所が愈々二十七日の町會で平町縣社子鍬倉神社境内の地續きである平小學校の一部不用地に決定された軍刀を杖に颯爽たる故中佐の英姿は毎日學校往復の子女五千人をして時の南部少將に宛た故中佐逃懐書の所謂――依つて負傷後自ら死して聯隊長及び同僚並に部下と共に地下に會せんとせり總るに右手負傷刀を執るに堪へず依つて拳銃を以て自及す閣下微衷を察せよの壯烈なる最期を偲ばしめ如何に大なる無言の教訓を與ふることであらうが、之れを以て所謂軍國主義の象徴を見るが如きは飛んだ間違ひであると某在郷軍人の鼻息なかなか荒い

◇

小名濱閣で鯛の大漁、昨日平町邊の小賣相場驚く勿れ十七錢、たかけてプロの食膳思ひ設けぬ珍味が上る

◇

一方田植が一とわたり濟んだ農村から來る野菜の洪水が菜つ葉の如きは脊負にも當らぬと云つた程の安値鯛のタイ漁に野菜がヤサイ（安い）語呂から云つても好都合だ

◇

千歳百尾の鰹を滿載して往くよ仙臺石の卷への途中坐礁した發動機船、救助を得て離礁出帆するまでは禮節どころの騒ぎぢや無かつたとある

◇

梅雨の緑下に平附近の氷水屋青菜に鹽の悄れ方（七、二九日）

◇

磐城水産工業の冷凍裝置は水産工業と云へば直にそれを聯想させられる迄に大仕掛なものですばかりに區切られた冷藏庫内には常に鮪、鰹、鯛などの鮮魚が溜出に貯藏され漁況の豊凶、市價の高低緩急に應じて適當に搬出するは勿論昨冬祭貯へて置いた生きの良い烏賊などを飛んでも無い時に目にかけたりしては甚臨らの食道樂をしてアツと云はせる仕組み

◇

そこは天井と云はず壁と云はず一面氷雪に掩はれてゐる程の低温でうつかりすると風邪を引く處で此處を見學した安島元代議士といはらきの宮田常務が入り口の處で悉皆氷盤に掩はれたパイプを見た丈けで夙に涼しくなつてしまひ「もう之れで澤山」とばかり第一室へも入らずに退卻したに引かへそれ以前に見學した白井農銀頭取は冷凍室から冷藏庫と順々見て歩いた末案内の中村技手から「こゝが今の處で零下十八度位です」と説明され平氣で「イヤしたまゝ「うむ福島の酷寒位だな」は頭取さんすつかり寒い福島の氣候に慣れたものと見へる

◇

今日開かれる同社の第一期株主總會で同社の代表事業とも云ふべき冷凍裝置を見學する事は決して止め申さぬが風邪ばかりは引かぬ樣株主さん同に御注意申しまあす

◇

未だ本當の暑さにならぬのでチト早い樣だが三伏の酷暑を知らぬ別天地水産工業の冷凍裝置涼味一掬の紹介終りツ（同七、三〇日）

――（今月今日）――

△賴山陽歿す（天保三）△廣島畑賀村にて列車顚覆死者三十五名を出す（大正一五）△加波山事件起る（明治一七）△阿勝の方殺す水戸中納言綱房の母である。大阪合戰和睦し家康血判の際自指を剌

映畫欄

脱線息子ご小川孝三に杉狂兒等のスピードショウ

道頓堀出勞頭大作二本にレビューを加へたスペシヤル・プログラムに依つて不景氣知らずの大景況を呈しつゝある帝キネ辨天座は開館第二週番組として杉狂兒主演德川良子、小宮一晃助演曾根純三監督佐々木邦氏原作「脱線息子」及び明石緑郎主演渡邊新太郎監督「一志士小川幸三」の兩特作を並べる外「脱線息子」プロローグショーとして「宵闇迫ればー」「嘘脱線息子」の寸劇レビュー三場を杉狂兒、小宮一晃、德川良子等挑演椎名良太郎作出演で上演観客を笑殺する事となつた

『素晴らしい奴』スター總出演製作

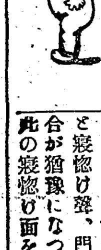
『黄金時代』を完成した帝キネ高見貞衛監督は續いて既報の如く群次郎正氏原作「マダム、ニッポン」を製作の豫定であつたが右は大作として種々準備進捗中に付其の前に六波羅三郎氏原作脚色「素晴らしい奴」に着手撮影開始した、出演者は小川國松「素晴らしい奴」平塚泰子（彼女）中村榮子（その養母）のほか時代現代兩部オールスターが全部出演帝キネファンが憧憬の的でおゝ長瀬撮影所內の賢況をカメラに收め主人公素晴らしい奴の活躍の伴奏的として華やかな帝キネオン、パレードを現はすると云ふ計畫である、撮影は鍋本技師が擔當尚ほ小川國松が退社云々の噂は全然無根の演説に過ぎず彼は同映畫に引續いて矢繼早やに主演すべき次回作品も既に決定してゐると云ふ繁忙さである

「鈴木新内」完成近し

鈴木澄子と市川玉太郎の顔合せで傲然センセイションを煽つた講談倶樂部連載「鈴木新内」の映畫化は山下監督に依つて着々進捗中であつたが愈々撮影大半を終り一兩日中整理に着手の運びとなつた撮影中澄子の扮した柳橋藝技が例の超エロをフンダンに發散してにじり寄るとその情人玉太郎が何ぜなくたぢ／＼となる有樣でこれには山下監督も手の施しやうなく然もそのため却つて氣分を强めるなどの珍場面を現出してゐる

ゴシツプ

河津清三郎が帝キネでのお目見得映畫！「大名異變」で百姓の若者に扮した河津にぞつと戀人の松中邦子が「ねわえらくなつて頂戴ね」の云ふところがある、津浦さんとたんにくさつて「ねえねね愛して頂戴ぢや間に合はないかい」



講談　赤鞘安兵衛（五八）

東京　桃川燕二演　村田月光畫

安兵衛の考へでは少しく自烈たがらせるつもり「ヤ、ヤツ」と青眼に構へて身を斜にする、もう安兵衛の大男は一本の竹刀の蔭に隱れて殆んど見ねぬ位で、寸も分も隙間がない――ヤツヤ、ツ……の掛聲は天井から仁太夫の頭の上に落ちるやうだ、同じく……「やゝつ」と聲を合せるが相手が見えず竹刀の先がニユーツと自分の鬚の先へ出て居るばかりだから夢我夢中で竹刀を振り廻す、安兵衛が打込めば直ぐうち倒れるが、一向に打を入れず幾らでも應對をし掛聲ばかりかけて居ります、物の小半時も引廻されたから仁太夫、ヘト／＼になり、額からは油汗がだら／＼浮腰をひよこ付かせてゼイ／＼息する時――「アイヤ中村先生」……「ハア」と天井を眺める、是れでは表に堂々と掛けた金の看板の手前が恥かしい譯…「中村先生チトお待ち下されい拙者は急用を思ひ出した此儘勝負を決せんとすると日暮れ時にもなるであらう今日はこれで試合を延ばし明日改めてお手合せをする事に致したいどうだな夫れは」……「えツ、お延ばし下さるか、それで助かつた」「何と仰せらる」――「いやそれは此方の事で、如何にも延期承知仕つた」……「ぢやお聞入れ下さるか、拙者は最前も申す通り馬喰町二丁目升屋喜兵衛方に止宿する天下の浪人中山安兵衛武庸でござるぞ、又是れなるは宿の帳場預り六三郎と申す者、それを承知かと」聊か大音、其の大音で居眠りをして居た六三郎、我名を呼ばれてはッと心付き……「へえ旦那樣何か御用で」と寝惚け聲、門人一同も試合が猶豫になつたところへ此の寝惚け面を見せられたからドッと笑ふ、仁太夫は自分を笑つたのかと苦み切る――「中村先生その義確と御承知でござるか」――「ハア」――「拙者の名前と逗留先が分つてござるか」――「御念に及ばぬ其の義は心得申した」――「然らば竹刀はお引き下さい」――「畏まつた」バラリ投げ棄てる……「明日は晝以前に再び罷り出るが御他出は御無用でござるぞ。サア六三郎參らう」――「へゝ旦那た約束が出來たと見えますな」……「默れ早く出ろ」安兵衛は六三郎を連れて立出でました「六三郎どうだ試合をよく見たか」――「いゝ少々」……「少々何うした」……「今朝早立ちのた客に起され、眠くて眠くて仕方がなかつたもので遂ウトウト／＼」……「道場で居眠りをする奴が何處にある」――「へえ／＼誠に……時に旦那樣旅籠代は御聞違になりましたか」……「まあ大概出來るだらう、夜逃げも出來ぬだらうからなあ」……「冗談云つちやあ困ります、旦那に夜逃げをされては六三郎一生浮かむ瀬がありません」――「馬鹿め何を言ふ」でも今夜逃げると仰しやつた」――「夫りや拙者の事でない金看板の中村の事だ」――「旦那こそ馬鹿を仰しやる彼んな立派な道場の先生が夜逃げなどなさるものでありません」……「それだから旅籠代が出るではないか」……「何うも旦那の仰しやる事は何が何だか私には分りません」「分らなけれが宿元へ歸つて一杯飲みながら詳しく話して聞かせよう、いろはのいの字からなア」……「旦那は一つ話すと二づ目には直ぐ酒だからやり切れない！」口小言は云つたが道場で明日／＼と約束した事だけは六三郎の耳に止まつて居ります、立戻つて來る暮れる扱て酒でございます「旦那、どうでせう全く明日金子が出來ますかね」……「出來る、明日どころではない今晩今に持つて來る。夫れについて貴公が必得て居ねばならぬことがある。

拈華微笑

◇兒童の貯金が積つて三萬四千圓塵もつもれば山となる好個の實物教訓だ

◇めねへねもうほいの念佛宣傳と

同巧異曲な國勢調査の唱歌配り

◇市制地を尻目にかけて二萬八千人の大內郷

◇弟子の事で揉み合ふ湯本の按摩同志

◇米の値下げで一キロ一錢丈け月給取有封に入る

◇あす彼岸の中日だ婆さんは寺へ坊や高臺の運動會場へ

▽……△

ハムよりうまい
鹽豚販賣
田町　三二三屋

新設電話開通
電話六七八番
暑さも遠ざかり涼しき季節となりました。そして御婚禮の時季となりました。皆樣ごーぞ御用命を御願致します。
和洋結髪美顔術
婚禮仕度美爪術
白赤毛染洗髪術
平驛前　**水野化粧院**
主　**水野冬子**
大泉キン子

電話六八一番
平町二丁目
果物問屋　**津輕屋商店**

電話六七九番
三丁目常磐銀行横
杵壽し

新鮮なる果實の御用は
電話六八三番の佐原屋へ
平驛前佐原屋

久々ニテ初秋第二回興行之陣立
聚樂館
東京大歌舞伎
名題　**中村文車**
市川久團次
外四十名　**大一座**
當ル九月二十六日ゟ午後五時花火合圖開場
後援　磐城時報社
東京朝日新聞平專賣所
東京毎夕新聞平支局

夜間診療
胃腸　內科　十二指腸虫病　專門　內科部
梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部
松村胃腸科花柳科醫院
（平南町電話一〇七番）

蒲鉾製造開始
弊店儀御得意樣各位の御愛顧を蒙り御蔭樣にて日々隆盛の域に相向ひ候處是れ偏に皆樣の御援助の賜と存じ誠に難有奉深謝候尚ほ本年は時節柄價格低廉に御用相勉め可申上候間舊に倍し何卒御用の程御願申上候
平町一丁目
蒲鉾折詰仕出し
御惣菜用　薩摩揚　吉原揚
藤寅蒲鉾店
電話一四一番

皆樣の
昭和タクシーは
此際御得意樣本位に
貸切料金の値下斷行
何卒御用命を
平驛前
電三四三（サシミ）
澤正路

吉田眼科病院
平町紺屋町

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり被下ば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話　六〇三番　五四一番

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

銘酒　**清世界**
各炭鑛御用達
石城小名濱港
吉清水屋
小野晉平
電話六番

三萬四千圓に上る
平校子女の貯金
一人の最高記録が二千圓
記念事業益々好成績

平第一第二第三の各小學校の兒童貯金現在高を調査するに第一校では大正四年の御大典記念事業として從來の任意貯金を全員貯金に改めて之れを奬勵した結果現在では同校生徒千四百三十九名全部が貯金を實行しその總額一萬四千七百四十五圓十一錢最近調査に達し最高額たる六年二組の如き加入者五十五名で一千四百七十六圓六十八錢に上り一人平均廿七圓に當る尚は個人最高は百五十九圓で開始以來の最高はかつて三百五十圓と云ふのがあつた第二校でも同樣御大典記念として之れを奬勵して居るが尋常一年生徒は保護者金其の他と混同する爲三學期より貯金する事にした爲め生徒一千五百十九名の內貯金をなしつゝある者は千二百五十三名で總額一萬四千百九十五圓十六錢(最近調査)一人平均十一圓で現在最高個人は百三十圓と云ふがあり二年前には平町某醫院の子女六年卒業の際は二千圓に達してゐたのがレコードである同校現在の組として多いのは六年生五十三人で一千五百二十圓三錢で一人當り廿八圓强である第三校では全校生徒六百三十八名中加入者五百四十五名との總額四千九百六十一圓二十一錢で一人當り九圓弱に當り個人最高は三百七十五圓で學級としては同樣六年六十二名で九百廿六圓一錢一人平均十六圓强である尚ほ各校とも貯金日は每月第一第三の月曜日とし貯金額は十錢以上一圓內として居るが異常な額に達して居るのは親自身の貯金とか子供の將來に備ふる特殊なものであると

十四校の選手五百が
壯快な爭覇接戰
金風颯爽の磐中校庭で
あす兒童の競技會

郡下十四小學校五年以下兒童競技大會は廿五日午前九時から磐中グラウンドで開催される一校から卅四名宛で選手出場の筈で會長會我直治氏の開會の辭判審長小野寛美氏の競技に關する注意に次ぎ選手四百七十名の合同体操後競技に入り
五年男子の百米、四百米繼走、走巾跳、バスケットボール、五年女子の五十米、二百米、走巾跳、バスケットボール、六年男子百米、八百米繼走、走高跳、三段跳、六年女子の五十米、四百米、走巾跳、バスケットボール、高一男子の二百米、八百米、三段跳、バスケットボール、高二男子の二百米、八百米繼走、走高跳、三段跳、バスケットボール、高二女子の百米、四百米繼走、走巾跳、バスケットボールの各競技に爭覇の接戰を見る筈

國勢豫習檢閱
廿七日平町で

平町の國勢調査豫習用紙記入狀況檢閱は廿七日午前十一時から各區委員を召集し郡農會樓上會議室て開催さるが縣より統計課係員の出席の筈

平第一校で少年消防
十一月發會式

平第一小學校の赤十字少年團員は現在五百名であるが同校では是れを以て更に少年消防組を組織すべく十一月初旬發會式を擧行する筈で目下教練ラッパの練習中であると

水道工事人夫は申込み順に採用
廿五日から測量を始め
買收交渉を進む

平上水道擴張部では廿五日から一週間の豫定で用地買收の實地測量を開始しその確定と共に早速着工の運びとなるが一方內部では二三日中に委員會を開催し鐵管コンクリート其の他諸材料の購入に關し協議を遂げその決定を待つて北好間唐松にある取水池より工事を進めるのであるが着手確定は來月中旬前後で之れに要する一日平均七八十人の人夫は申込順に採用する筈であると

稻田場長指導

本縣では農村にたける副業奬勵として疏菜果實肉類等農産物加工貯藏法を傳習して來たが、今回更にこれが罐詰の製造講習會を十月上旬伊達、耶麻二郡において開くことになつた講師は農業試驗場石城分場長稻田彰氏である

泉村民陳情
鈴木縣議同行

泉村地內を貫流する藤原川は出水の都度氾濫し流域一帶冠水してその被害少なからぬものあるので之れが浚渫方に關し村長中村立朔氏外代表三名は二十二日午後四時四十一分平發の磐城線下り列車で鈴木縣議に同行され出縣今二十三日縣に處り夫々陳情する處あつた

平選手出場
都市對抗競技に

平第一第二校では來月十九日郡山市安積高女グラウンドで開催される福島每日新聞社主催都市對抗兒童競技大會に出場するので選手各廿五名は目下猛練習中であると

平各校運動會

平第三小學校では來月十五日午前八時から秋季大運動會を開催する又第二小學校では十二日第一校庭で開催する由

湯本消防奉仕

湯本町消防組では今回一、同町字三函の火の見櫓の改築一、同町字吹谷貯水タンクの修理一、同町三函地內の架橋修理の件を協議決定した

四倉女青總會

四倉町女子青年團總集會は來る廿四日午後零時半から四倉小學校に於て開催する

白米値下げ

平町米穀商組合では廿二日組合長宅に幹部會を開き小賣相場値下げに關し協議をなしたが十月一日から一キロで一錢平均値下げの模樣である

國勢調査の趣旨を
全校兒童に宣傳
平易通俗な歌詞を配布
平第一小學校の試み

平第一小學校では來るべき國勢調査の趣旨を一般兒童に會得せしむる爲左記宣傳の歌詞を今二十三日全校兒童に配付した

國勢調査宣傳唱歌

一、國勢調査の目的は、帝國版圖の人々の、世帶の樣を精査して、善政の基となすにあり、げにや建國この方の、國民一致の事業なり
二、調査の時はいつなるぞ今年十月一日の、午前零時のま夜中に、我家に居合すその人を、洩れなく用紙に書き入れて、午前八時に出すなり
三、世帶の種類に二つあり宿や下宿や合宿所、之等は總て準世帶、その他はなみの世帶なり、準世帶では管理者を、申告義務者と定めらる
四、調査の事務を掌る、その役の名は調査員、用紙の配付や取り集め、その骨折りや如何ならん、胸に下げたる徽章には、重き役目を示すなり
五、申告事項は姓名に、生れし年月性の別、妻や夫のあるやなし、しかと正しく認めて、世帶の主をはじめとし、年齡の順序につゞるなり
六、調査する日の近づかばなるだけ旅をせぬものぞ火のもと用心第一に、傳染病にも氣をつけよ、之等の禍起りはば、調査の妨げいかばかり
七、課稅に係はる調べかと疑ふ怖れ更になし、萬一申告せぬ人や、不實の申告せし人は、重き罪科に處せられて、末代迄も家の恥
八、十年一度のこの調査、よくその譯を會得して、人皆心を一となし、外國迄も我が國の、力の程を表はして、國の譽れを輝せか

大都市と比肩する
天下の大村內鄕
平を凌ぐ一千人
國調準備に現れた數字

內鄕村は全國でも大村として知られてゐるが來る十月執行される國勢調査のため準備調査をはなしたところ人口は二萬八千を突破し平町の人口より多い事一千以上に達すべき豫想である因に同村と同程度の都市としては二萬八千の尾道二萬九千の丸龜市などがあり同村は堂々之等の大市街の間に位し天下の大村振りを發揮してゐるわけである

投槍
歡迎投稿

女人群像

二十一日縣下女子中等校庭球試合に臨んだらしい一行二十餘名東線の郡山午後五時三十五分の一番前部の二等半ばの箱を占領してわいわい騷いでゐる、發車前にその引率者らしい四五人が四合瓦を何本か買ひ込んだこと勿論である。

◇

舞木を發し三春を發し船引に着くころは正に酒三行に及んだものらしく唄やをどりの大亂痴氣但し平へ着くころは恐らく口を拭つてゐる事だらう、後部列車にゐた乘客は何のことかと總立ちとなつての見物に流石の彼等も氣がとがめたかしてドアの前に立ち塞がつて見えないやうにしてゐた事など仲々馴れたものだ。

◇

僕も最初は女學生一行だとは思はなかつた、女學生の中に助平な活辯が割り込んで女を構つてゐるのだと思つてゐたら何ぞ圖らんそれが引率者の敎諭らしいのに膽をつぶした、僕ばかりではないすべての人が膽をつぶした、嘘だといふならその汽車の中に乘り合はせた某々名士たちの名前を出しても支障ない學校名も出してもよい。

◇

學生とはいひ乍らテニスの選手に出る位だから體も相次出來てゐる、モウ嫁になれ相なのがいくらもある短いスカートの間から時々チラつかせる太腿などには最早十分人の子の母となり得るまで圓熟したのもある

◇

さうした若さに輝く芳醇な香りを嗅ぎながら呑む酒は大に甘いだらうがこいつは親達の方で堪まらない折角うちの娘が競技に出場するといふので近所隣へも吾の高い筈の親達も、こう廿く見られては敵はない、尤もそれを承知で競技中は娘のことは一切先生方にお委せします、煮て喰はれても燒いて喰はれても構ひませんと人身御供にでもする氣なら別だが、若しあの場合わたしがあの娘たちの父兄だつたらきつぱりお斷りする。

◇

生徒だちよ、運動競技に大いに專念するよそして先生の行ひを見習ふのもよいけれ共先生が都々逸を唄つたから生徒も唄つてよいといふ理由はない學校を出て家庭に入つて碌なコロッケも作れないようでは姑から酷い目に合はせられることを承知なら

(同乘生)

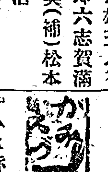
磐中粒選りの猛者
近縣中等學校柔道大會へ
廿八日水戶遠征の
選手の顏ぶれ決る

磐中では廿八日水戶高等學校主催の近縣中等學校柔道大會へ左記選手を送る筈で目下猛練習中である
一番選手(初段)草野良夫 二(初段)廣木充明 三佐々木正康 四大平民雄 五(初段)根本久太郎 六志賀滿義 七長谷川清美 (補)松本正文、高萩新治

弟子を返せ
按摩同志の爭ひ

湯本町字三函按摩業佐藤佐平方弟子內鄕村御厩上宿生れ深谷正一(二四)は去る九日無斷家出し行方不明のため平署へ搜査方を願ひ出たこの程同人が同町三瓶長藏方に潛伏して居る事が判明したので引渡し方を迫つたが同町裏町磯上登と三瓶はそれに應せぬので佐平から兩人の說諭方を廿三日平署へ願出た

盆踊餘聞



……或藝者屋のたかみは赤井嶽の盆踊りがたゝつて頭で踊るほど醉つたのはよいが、其のあげく料理屋で癇を起した、シャクは日本で通用しないと樞密院流に言へばメートルを起したのだ◇ソレ冷藏庫に頭を乘ッけろ、草履で額を冷やせと騷いだが、お醫者さんの藥價値下げの注射でツト幽明所を異にしないで濟んだ◇裏が以後盆踊り中止の命令が其筋から發布されたものだ、それでへコたれゝば天下泰平だが、そこは今に公民權を得ようとする昭和婦人は默つてゐない◇アンタの浮氣がヤケ酒が飮ませたので、罪は盆踊りにあらず原告の浮氣にありと異議申立てをした、サテ浮氣禁止か盆踊り禁止かどつちに判決が下るかと、モウあの晩に示談が成立してゐるのも知らずに、判決を待つてゐる新田町の村衆も好い氣なものだ

平町人事

▲死亡 平町二丁目二六湯本町三函二八四無職渡邊熊五郎(七三) 平町新川町二田村郡小野新町寺下一〇二渡邊惠吉(五六)

記念事業として
青訓聯合會創立
昨日指導員會で決議

石城郡青訓主事指導員會は廿二日午後一時から平第一校で開催され教育勅語四十週年青訓實施五週年令旨降下十週年記念事業として郡下青訓聯合會を設立する事となつた

明日の吉凶

舊曆八月三日　新曆九月廿四日

▲一白の人 金緣あるが如く見えても手中に止まり難し ▲二黑の人 義理のために知りつゝも不利に陷る事あり ▲三碧の人 一時はよけれども久しからずして憂となる ▲四綠の人 今日の地位に安んじ心を動かさぬが安全なり ▲五黃の人 平和なれとも何となく心の融和せざる日 ▲六白の人 一步は一步より勢ひ付きて發展し行くべし ▲七赤の人 朝口は思ふ樣ならざれども午後は大吉たり ▲八白の人 身下の事に口を出して辛勞することあるべし ▲九紫の人 焦らずとも前途坦々たる愉快の域に出ずべし

童謠集 (3)
島田忠夫

村

旅あきうども
入れまいぞ
貧しい村の
立札よ

顏の見れない
日くれまで
みんな出てゐる
田のしごと

家にかへれば
おとうとが
竈の前から
立つてくる

馬湯

山の湯に居る
馬ひとつ
ざぶりこざぶりこ
尾をふるよ

馬の湯に浮く
いぼたの花
しろじろしろじろ
線による

あをい光線
さしてくる
わかばわかばを
陽が透けて

谷でかつこう
なきながら
のんきなのんきな
湯の馬は

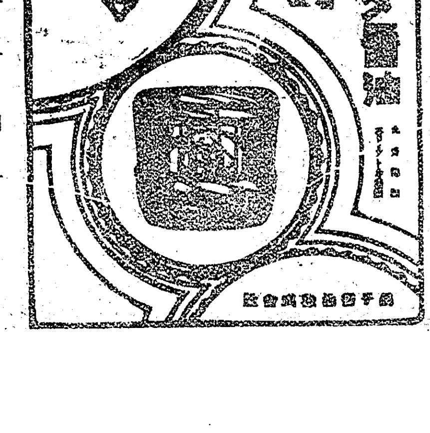
◉借家人を望む
市內目貫の場所にて
樂器(日本樂器…蓄音器 洋樂器…其他)の營業を開始せんとする營業者に店舖を御貸し致し度し
(姓名在社)

X光線 外科專門
入院隨意(自動の便あり)
病室完備
平南町 上田外科醫院
電話一二九

秋とサロン
サロンの黑ビール
天高く
氣朗かに
醇味にして
芳醇の
黑ビールを召せ
サロン
田町 電三五二番

良品廉賣に勝る
商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅鐵 (久) 釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は(久)の生命なり



特約店
平町田町
廣瀨支店
電話五四